

止水板設置工事費等補助金制度



風水害時における浸水被害を軽減・防止するために、止水板の設置工事などの経費の一部を補助します。

対象となる事業

- (1) 止水板の購入および設置工事 (購入のみ可)
- (2) 浸水被害防止または軽減に資する関連工事

補助額

(1)、(2)ともに、実支出額の2分の1 (各上限20万円)
詳しくは市ホームページをご確認ください。



皆さんへ！

災害時看護職等ボランティア募集中！

狛江市では、災害時に避難所や緊急医療救護所で、医療救護活動などにご協力いただける方を募集しています。



対象者

看護師、保健師、助産師など医療に関する資格をお持ちの方で、災害時にボランティアとして活動できる方

主な活動内容

避難所などでの傷病者に対する応急処置や看護、避難所における要配慮者の健康管理、研修や訓練への参加など
登録方法は市ホームページをご確認ください。



防災協力農地について

狛江市には、市内農家の皆さんにご協力いただき、災害時に活用するための防災協力農地を設けてあります。地震などの災害時に避難場所として使用します。
現在、市内には6箇所の防災協力農地があります。

この看板が目印！

防災協力農地

地震等の災害時に、この農地は避難場所として利用できます。

📍 狛江市



この農地は〇〇さんのご協力により、防災協力農地に登録されています。
※平常時は立ち入ることができません。

農地を所有されている方は防災協力農地制度登録へのご協力をお願いいたします。(防災協力農地として使用した場合の損害に応じた補償もごさいます。)



登録制度詳細について市ホームページをご確認ください

ハザードマップ確認の重要性

ハザードマップの確認は、自分の避難の必要性を確かめる上で非常に重要です。洪水ハザードマップを確認する時は、自宅などが洪水浸水想定区域に入っているかどうか、最大想定浸水深が何mかに加えて、家屋倒壊等氾濫想定区域に入っているのかも確かめましょう。氾濫流の区域に入っている木造家屋や河岸侵食の区域内にお住まいの方は、必ず早めに避難するようにしましょう。

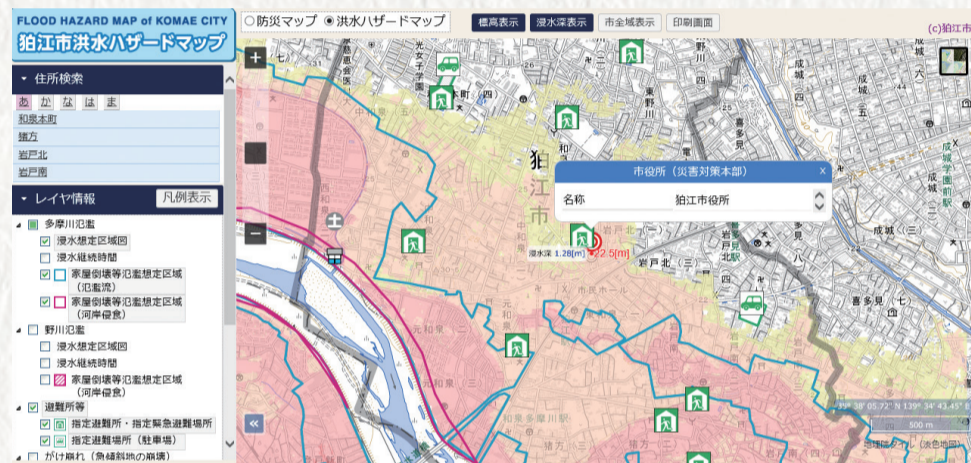
web版

狛江市洪水ハザードマップをリニューアルしました

令和3年3月の狛江市防災ガイド改訂にあわせ、web版狛江市防災マップ・洪水ハザードマップを更新しました。防災マップでは災害時集合場所や避難所の位置などを確認することができます。洪水ハザードマップは、その地点の最大想定浸水深や標高などを表示する機能があります。自宅や周辺が何メートル浸水する危険があるか、より細かく確認することができます。



防災マップ・洪水ハザードマップ案内ページ



web版洪水ハザードマップの機能紹介

- 多摩川氾濫版・野川氾濫版の表示
- 最大想定浸水深の表示
- 標高の表示
- 浸水継続時間マップの表示
- 土砂災害警戒区域の表示
- 印刷画面の表示 (PC版のみ)



※使用法は市ホームページに掲載しています。 狛江市役所の浸水深と標高を表示した場合

狛江市防災マップアプリ

web版マップと同様に狛江市防災マップアプリも最新の内容に更新をしています。狛江市防災マップアプリをインストールしておくことで、通信していない状況でも防災マップや洪水ハザードマップを確認することができます。

災害時には市のホームページにアクセスが集中し、接続しにくくなる場合があります。いつでも見られるよう狛江市防災マップアプリをスマートフォンなどにインストールしておきましょう。



iPhoneの方はこちら



androidの方はこちら



内水ハザードマップを配布しました

「狛江市内水ハザードマップ」を作成し、市内全世帯へ配布しました。大雨によって下水道管などからあふれた水(内水)により氾濫した場合を想定した浸水の範囲と最大の深さ、防ぎ方や避難方法などの情報を示したものです。洪水ハザードマップと併せて確認しましょう。

問合せ：下水道課 03-3430-1304

